

# かいほう

第16号



題字 常盤小 6年

岡崎市特殊教育推進協議会(昭和62年3月5日発行)



## 自戒

福岡中学校長

松崎稔

先生のところ提出したものは、必ず赤い字が書かれて返ってくると思っている生徒。「早く返してほしいな」「何が書かれてい

るかかな」と、期待しているのは当然なことである。それなのにいつまでも返してくれなかつたり、おきまりのゴム印では見る

気にはなれない。やつぱり赤い字がほしい。しかも、一字でも多く。

先生の朱書を読んで喜びを感じ、家に持ち帰って親と子の会話をかわす生徒もいるのではなからうか。

いつもほうまくやれない生徒も、特に苦労してやっと作り上げた作品ならなおのこと、そうした先生の一言がほしいものである。問題

は、子どもの心の寥線にふれる言葉がほしい。先生は自分のことをよくわかっていくれるだろうか。

「あなたのまじめさに打たれました。随分苦労しましたね。すばらしいよ。」

「この前の作品とは比較にならないよ。腕が上がりましたね。これ

からもすっかりやろうな」

「〇〇のところがよく工夫されていて感心した。ここを少し考えて

てなおしてみれば」と、生徒の気持ちを浮べ、どんな状態の中で作られたものか想像して

みるのが大切である。

自分はそんな横柄な傲慢な態度はとらないと日頃は思っても、さて実際に何やかやと不満を感じる

と、「とにかく自分は悪くない。その原因はすべて他人にある」と考

える。人間の弱さと言ってしまう。人間の間隙をうまく利用して、お互いにそんなことをくり返しては良くならない。

他を責める前に少くとも半分は自分にその責めがあると考え、自らを省みる。そうした謙虚さを持つことが必要であろう。そしてそれができるところに、人間としての真の尊さ、感打ちがある。

「ごめんね、必ず明日返すから

な」それは、自分自身への誓いであり、また反省でもあろう。



男川小 四年

ぴーこちゃんの人形がきました。はくしゆをしました。はじめてぴーこちゃんにありました。ぴーこちゃんのおつて大きかったです。しっぽもかわいかったです。しあわせなら手をたたこうのうたをうたいました。ぴーこちゃんもやりました。ぴーこちゃんまたあいたいね。ぴーこちゃんわたしといっしょにあそんであげます。

大樹寺小 六年

わたしは、みんなといっしょにうんどう会をしてうれしかったです。一番はじめに、ピーコができてました。はねをひろげてわたしをかえってくれました。一番楽しかったのは、きしゃポッポです。おかあさんと走ってトンネルをくぐっておもしろかったです。わたしはかけっこで四番でした。さんねんでした。でもわたしはせいはいっぱいがんばりました。

電海中 三年

僕は、ときようそうで一番になりました。それから、玉入れや、今年はずいかのあたり年など、いろいろたのしかったです。そして僕は、六名の体育館で、二人友だちをつくりました。名前は、さかきばらと、千賀という子供です。みんな、やさしくてしんせつです。これからがんばります。

### 本部だより

毎年、楽しみに待っている『子どもと親の集い』運動会が、九月八日に行われました。

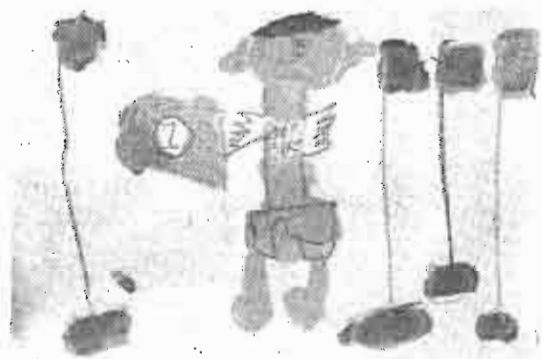
妻博のマスケット「ピーコ」の登場で、子どもたちは大喜び。力いっぱい演技にはくしゆの輪が広がる。賞品のメダルを胸に得意顔。例年以上に盛り上がった会になりました。

「他の子どもや親どうしの交流話し合いの場が持てた」「親子で楽しめた」「種目をさらに工夫して」「など父兄や教師からの意見がたくさんあり、今後さらにすばらしい会にするための参考にしていきます」と思います。



連尺小 四年

たくさん玉が入ったね。これなら赤組がゆう勝ですね。



福岡小 三年

ぼくは、かけっこで一ばんだった。りっはなカードをもってとくいそうですね。

### このごろ思うこと

福岡小 稲谷 京子

「さあ、次の時間はホットケーキづくりだよ。」準備を始める、と、それぞれ好きなことをしていた子供達がこちらを向き、耳を傾ける。そして、だんだん体がこちらへ寄って来る。子供達は食べ物に関する学習が特に好きである。材料をはかる、混ぜる、焼く、



こうした活動の中から日常生活では発見できない意外な力を見つけていることができ驚くこともある。「お好み焼き」では一人一つ卵を割ってみた。「おにまん」では拍子切りのサツマイモを包丁で小さく切ってみた。「もちつき」ではきねを一人で持つてついてみた。もちにあんを入れて丸めてみた。日常、發揮できない子供達の隠れた力を見つける学習を広げていきたい。そして、子供を見つめ直す機会としたい。

### 県外研修報告

## 東仙台中

十月六日から九日にかけての四日間の県外研修の第二日め、仙台市にある東仙台中学校を研修視察した。

東仙台中学校では、「生活経 験拡大と社会生活を高めるための交流教育のあり方」という研究テーマに基づいて、クラブ、部活動、選択教科に、陶芸を取り入れた指導がなされていた。粘土は安価で、可塑性もあり失敗してもやり直しができ、無理なく訓練できる。また、作業



ろくろに取り組む東仙中の生徒たち。むづかしいんだよ。

### 6年間がんばったこと

美合小 六年



級での授業にもよくやることのできたと思います。養護学校へ行っても勉強や訓練をがんばりたいです。友だちをたくさんつくって、楽しくすごしていきたいと思えます。

### 就職が決まっつて

甲山中 三年

五月生の初めごろまでは、通学班の子と並んでいくことができていました。それからしばらくして途中まで歩き、母に自転車にのせてもらうようになりました。いまでは車でおくってもらう毎日です。トイレに行くときでも、先生に歩いてきてもらいますが、教室から歩いて行っていました。修学旅行では父と母についていってもらい、皆と一緒に部屋で食事をしたり、寝たりして、とても楽しくすごしました。車イスで行ったので、人れないところもありましたが、皆と行けたことがうれしかったです。小学校では、よく歩き、普通学

一月十四日、長坂塗装の面接試験がありました。九時三十分には家まで行き、十時四十分頃に会社に着きました。お母さんと社長さんと奥さんと話をしました。ぼくは工場長さんと工場の中を見学しました。工場の中は大勢の人が働いていました。見学をすませて、また、社長さんと話をしました。そして、社長さんが、「しっかりとがんばりなさい。」と言いました。そして、「入社は三月二十三日です。」と言ってくれました。最後に社長さんとおばさんに、「ありがどうございました。」と言って帰りました。長坂塗装に合格して、今まで心配がドキドキしていたのが、とてもうれしい気持ちにかわりました。これからしっかりと勉強してがんばります。

### 特殊教育の歴史

## 現場の模索

### —学習効果をあげた促進学級—

加藤 藤 潔

「先生、うちの子に芋掘りなんかさせんといっておくれん」家の畑でやらせるで。そのかわり勉強をしつかり教えて下さいよ。」

「先生、うちの息子はパン屋にはやりませんで。パン屋の手伝い、やらせんといして下さいよ。そんな暇があったら、漢字の一字でも覚えさせて下さいよ。」

昭和四十二年ごろ、農村地域での中学生父兄の声であった。

### 消えた工場学習

生徒の親は、作業学習や工場実習を嫌がった。学校では、子どもに勉強を教えてほしい。二字でも文字を覚え、一問でも数学が解けるようにしてほしい。これが切実な親の願いであった。

この年の入級希望者は激減した。担任は精力的に家庭訪問を続けたが、親の理解はなかなか得られなかった。

ができた。授業後、昼食後になると、必ず職員室に質問に来た。小学四年・五年の算数の本や地理ノートを持って先生の話を聞いていた。その熱心に職員室の空気は一変し、生徒に対する愛情・理解・認識が一段と深まった。促進学級は特殊学級ではないといわれたが、教育的効果は十分に発揮された。

昭和五十年ごろになると、障害の重い児童・生徒の入級が増えてきた。自閉症児・機能障害児・重度障害児等々の適性就学についての教育相談が熱心に行われたことは前号のとおりである。小学校では年々障害の重い子が増えていった。学級担任の対応もたいへんなものであった。

これらの児童もやがて中学校へ進級、三年後には自己の進路を決めなければならぬ。障害を背負っての船出である。この頃から必然的に促進学級は姿を消していった。時間割には「作業学習」が復活した。芋掘りの子どもの顔が生き生きと輝いてみえた。

親も子ども喜ぶ学級づくり

教科担任は主任級が当てられた。国・数・英は教科主任が受け持った。音・美・体・技の四教科は社会性を培うため交流学習とされた。地域の要望に応えた促進学級はそれなりの学習効果をあげること

できた。授業後、昼食後になると、必ず職員室に質問に来た。小学四年・五年の算数の本や地理ノートを持って先生の話を聞いていた。その熱心に職員室の空気は一変し、生徒に対する愛情・理解・認識が一段と深まった。促進学級は特殊学級ではないといわれたが、教育的効果は十分に発揮された。

昭和五十年ごろになると、障害の重い児童・生徒の入級が増えてきた。自閉症児・機能障害児・重度障害児等々の適性就学についての教育相談が熱心に行われたことは前号のとおりである。小学校では年々障害の重い子が増えていった。学級担任の対応もたいへんなものであった。

これらの児童もやがて中学校へ進級、三年後には自己の進路を決めなければならぬ。障害を背負っての船出である。この頃から必然的に促進学級は姿を消していった。時間割には「作業学習」が復活した。芋掘りの子どもの顔が生き生きと輝いてみえた。

### 学級スナップ

## 僕、ホットケーキ

### 作れるよ

山中小 六の三

「お早ようございます」が終わると同時に、「先生、三時間目はレストラン山中やるね」と念をおされた。楽しいホットケーキ作りを忘れられては、子どもにとってはたまらない。

本年は、かなりの時間を調理実習にさいてみた。カレールイス、甘酒、焼き芋、そしてホットケーキ作りである。



ホットプレートを取り出した時「油をひいて」と、言語に遅れのある、一年生のNの言葉に驚いた。またまた素敵な言葉が言えた。この一言で学習が盛り上がり、子ども達の顔は生き生きと輝いた。

### 情緒障害サークルだより

## 自閉児の行動特性

### チェックリスト

これまで、自閉児の行動特性の理解やその指導方法について話し合ってきました。しかし、自閉児の問題は多岐にわたっているため、話し合いがなかなか深まっていけないのが現状です。そこで、自閉児の全体像をつか

むためのチェックリストを作成することにしました。

\* 各学校に在籍している自閉児の言語や行動をもとに項目別のリストを作りました。

\* 自閉児を診断するものではありません。

\* リストは、使いながら改良していきます。

研究サークルの活動の一端を報告しましたが、先生方の御協力をお願いいたします。(野村正文)